遊び庭（上級者向け）

本調子

| | | |

遊び庭（上級者向け）

本調子

ヒリ								
工	六	七	○	七	○	七	○	

一、毛遊（もうあし）びぬ夜（ゆる）や
　いそーさ肝（ちむ）どんどん
遊び庭（あしびなー）に皆（んな）
寄（ゆ）てい来（く）う　太鼓三絃
（てーくさんしん）かたみてい来（
く）う
でいーー我（わ）ったー島唄　三線出
来（でいき）らち
舞（も）うらな跳（とう）ぬがな
イヤササ（ハイヤ）　イヤササ（ハ
イヤ）
アヒリヒリヒリ

二、唄に真心（しん）立ていてい　隣（
とない）ぬ村までいん
聞（ち）かするちむえしあびとーし
が
風（かじ）やまーにが吹ちようらや
でいーー我ったー島唄　囃子（
ふぇーし）出来（でいき）らち
舞（も）うらな跳（とう）ぬがな
イヤササ（ハイヤ）　イヤササ（ハ
イヤ）
アヒリヒリヒリ

三、ありありあーまん小（ぐわ）　ヤー
んくま寄（ゆ）て来（く）う
我（わ）した島ぬ唄遊（あし）び
聞（ち）ちどぅちゃがやー尻（ちび
）尖（とうが）らち

四、横走（ゆくば）いするカニ小（ぐわ
）　ヤーやまあかいが
穴小（ぐわ）るとぅめて歩（あ）ち
ゆるい　あぶくんブクブク目（み）
グルグル

五、アン小（ぐわ）達（たー）が舞（も
）ういやよ　ガマクんくんしみてい
ヤッチー達が弾ちゅる三線に　囃子
（ふぇーし）立てていとてい尻（ちび
）ふいふい

六、遊び庭やでいかしなむん　御万人（
うまんちゅ）打ち揃（する）てい
手（てい）拍子合わちょていヒヤミ
カセ　みるく世果報（ゆがふ）招（
まに）ちゅんど